



①枕崎駅のホームでは多くの枕崎市民がお出迎え ②枕崎駅前広場で記念撮影する訪問団 ③お魚センターでカツオのわら焼き体験 ④明治蔵で伝統的な焼酎造りを学ぶ訪問団 ⑤火之神公園で火の神乙女太鼓爽と和太鼓体験 ⑥歓迎交流会での鏡開き ⑦工藤稚内市長から前田市長へ記念品の贈呈 ⑧記念品の北防波堤ドームの木製模型 ⑨新型コロナウイルス収束の願いと歓迎の意を込めて打ち上げられた花火 ⑩鹿児島水産高校の「かつお捌き隊」による解体ショー ⑪交流会での食事(カツオの握り) ⑫白波会によるかつお節削り大会 ⑬稚内訪問団を見送る市職員と関係者



皮の唐揚げやカツオの握りをはじめ、さつま揚げや鹿児島産の和牛など、鹿児島の郷土料理の数々を堪能しながら交流を深めていきました。交流会のアトラクションとして鹿児島水産高校の「かつお捌き隊」による解体ショーや、白波会によるかつお節削り大会等の催しに、会場は大いに盛り上がりました。翌31日、訪問団は多くの市職員や関係者に見送られながら、枕崎を後にしました。

10周年を記念し、互いの地を訪れることで理解と交流を深めた両市。これから20年、30年とこの縁をますます深めていきたいと思います。

問合せ 企画調整課企画調整係 TEL 761089

特集 枕崎市 稚内市
友好都市締結10周年記念

稚内市のみなさん 枕崎へおじゃったもんせ!!

10月29日に鹿児島入りした稚内市民訪問団38名は、翌30日に指宿市山川町を観光した後に、西大山駅で列車に乗車し、枕崎へ向かいました。

枕崎駅には前田祝成市長をはじめ「稚内市のみなさん、枕崎へおじゃったもんせ」と書かれた横断幕や豆カツオのぼり、手作りの稚内市旗を持った約100名の市民が訪問団を迎えようと集まりました。列車が午後0時56分に到着すると、盛大な拍手で市民訪問団を迎えました。

枕崎駅前広場で記念撮影をした訪問団は、お魚センターでカツオのわら焼き体験、火之神公園で火の神乙女太鼓の演奏や和太鼓体験のアトラクションを楽しみ、平和祈念展望台、明治蔵を観光し枕崎の地を堪能しました。

夜は、花渡川ビアハウスに場所を移し、歓迎交流会が開かれました。交流会で工藤稚内市長は「駅での出迎え、今日この会場での接待に本当に感謝の言葉しかありません。これからも、皆さんと末永くお付き合いをさせていただくことを心からお願ひします」と話し、前田市長に記念品として稚内港北防波堤ドームの木製模型を手渡ししました。その後、両市の代表8名による鏡開きを行い、乾杯と同時に新型コロナウイルス収束の願いと歓迎の意を込めた花火の打ち上げを合図に交流会が始まりました。市民訪問団のほか市内各団体や6月に稚内を訪問した枕崎市民訪問団のメンバーも参加し、枕崎の腹



interview

枕 崎には、56年ぶりの訪問となりました。遠洋漁船(カツオ船)の通信士をしていた19歳の時に初めて訪れましたが、宮城県気仙沼市出身の私にとって、初めて目にした南国の雰囲気が印象に残っていて、今回の訪問団の募集を見た時には、行くしかない!と妻と共に応募しました。

訪問した場所の中でも、お魚センター付近の港の景色は、昔来た場所はここだ!と56年前を思い出させてくれました。通信士として駆け出しの頃の思い出がよみがえり、感慨深かったです。

また、枕崎の皆さんの歓迎にとっても感激しました。歓迎交流会で同席した皆さんとも、民生委員や観光ボランティアなど共通の経験話を話せて、いい交流ができました。

稚内では、6年ほど前からコミュニティラジオ放送局「FMわっぴ〜」のパーソナリティを務めており、私の担当番組「和一のなつかしき昭和から明日へ」でも今回の訪問のことを紹介しようと思います。

わいち
中澤 和一さん(75)

